

社会福祉法人経営動向調査 (2020年12月特別調査) の概要

2020年12月25日 (金)

独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター リサーチグループ

社会福祉法人経営動向調査（2020年12月特別調査）の概要

目的

新型コロナウイルス感染症に伴う、特別養護老人ホーム経営・運営への影響等の把握

対象・回答状況

対 象 特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 563法人
(WAMに登録しているモニター)

回 答 数 438法人

有効回答数 438法人

有効回答率 77.8 %

(参考) 過去の有効回答率

令和2年3月 (通常調査)	令和2年6月 (特別調査)	令和2年9月 (特別調査)
82.6%	76.4%	83.8%

※「通常調査」は4半期毎の景況感に関する調査
「特別調査」は新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査

実施期間

2020年11月24日（火）～ 2020年12月14日（月）

方法

Web上で実施

サンプル属性

社会福祉法人

単位：法人

地域ブロック	大規模法人	中規模法人	小規模法人	合計
北海道	5	8	8	21
東北	17	16	10	43
北関東	8	16	24	48
南関東	36	22	24	82
東海	18	13	10	41
北陸	8	12	8	28
近畿	33	30	19	82
中国	5	19	9	33
四国	8	2	4	14
九州・沖縄	9	20	17	46
合計	147	158	133	438

* 地域ブロック…北海道：北海道 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 北関東：茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 東海：静岡県、岐阜県、愛知県、三重県 北陸：富山県、石川県、福井県、新潟県
近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県 九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

* 法人規模…大規模法人：従業員200人以上 中規模法人：従業員100人以上200人未満 小規模法人：従業員100人未満

特別養護老人ホーム

単位：施設

施設種類	大規模施設			中規模施設			小規模施設			合計
	従来型	ユニット型	その他	従来型	ユニット型	その他	従来型	ユニット型	その他	
1級地	1	1	1	4	3	0	0	0	0	10
2級地	7	3	0	4	0	0	0	2	0	16
3級地	3	1	1	2	0	0	0	5	0	12
4級地	1	3	1	8	7	0	0	0	0	20
5級地	5	5	1	8	8	1	0	6	0	34
6級地	3	5	5	19	10	3	0	12	0	57
7級地	5	2	2	15	19	8	1	20	2	74
その他	12	10	3	76	39	28	3	38	6	215
合計	37	30	14	136	86	40	4	83	8	438

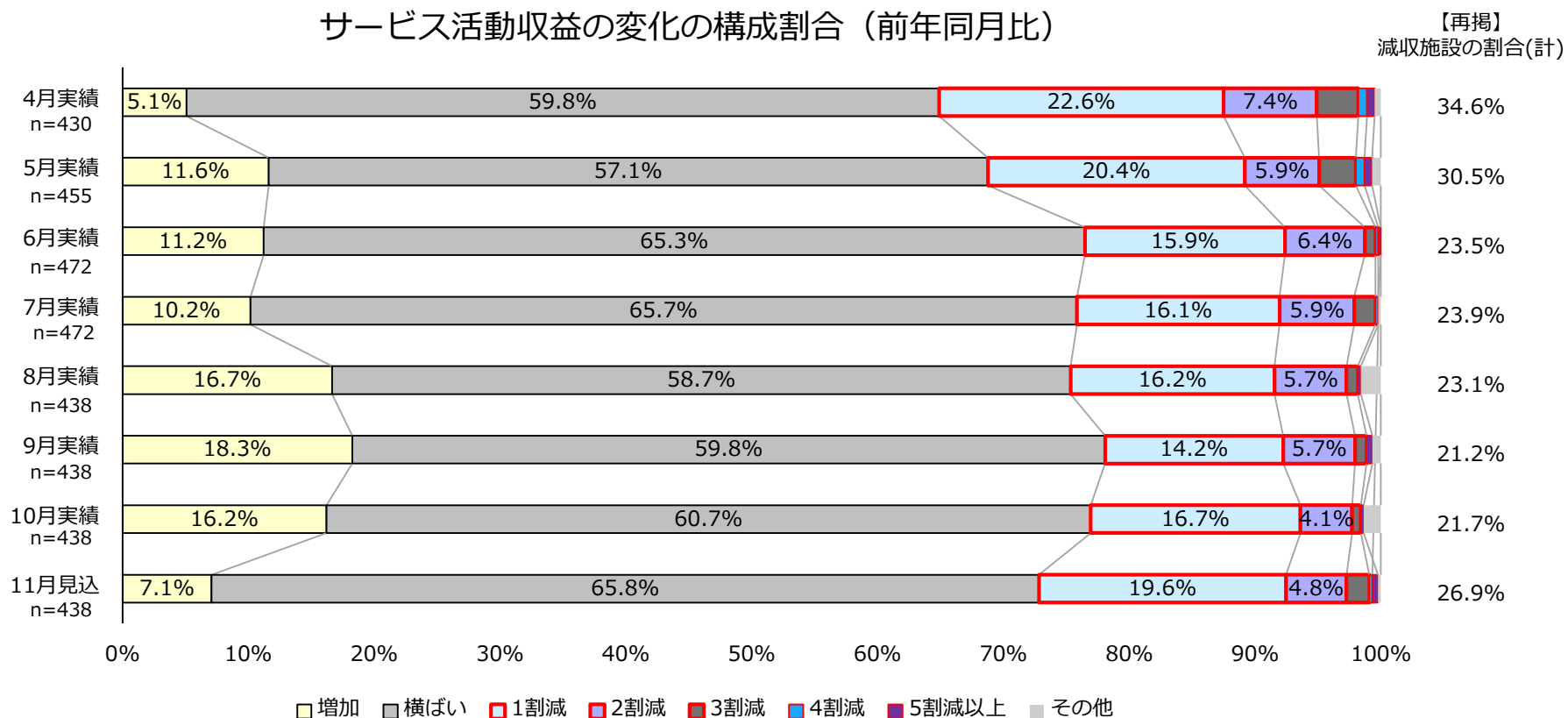
* 級地…介護報酬における地域区分

* 施設規模…大規模施設：定員100人以上 中規模施設：定員30人以上99人以下 小規模施設：定員29人以下

* 施設種類「その他」…一部ユニット型又は従来型とユニット型の併設

1 サービス活動収益

サービス活動収益の変化の構成割合（前年同月比）



注1) 数値は四捨五入のため内訳の合計が合わない場合がある（以下、記載がない場合は同じ）

注2) 4～7月実績はそれぞれ6～9月の調査による集計結果を記載（以下、記載がない場合は同じ）

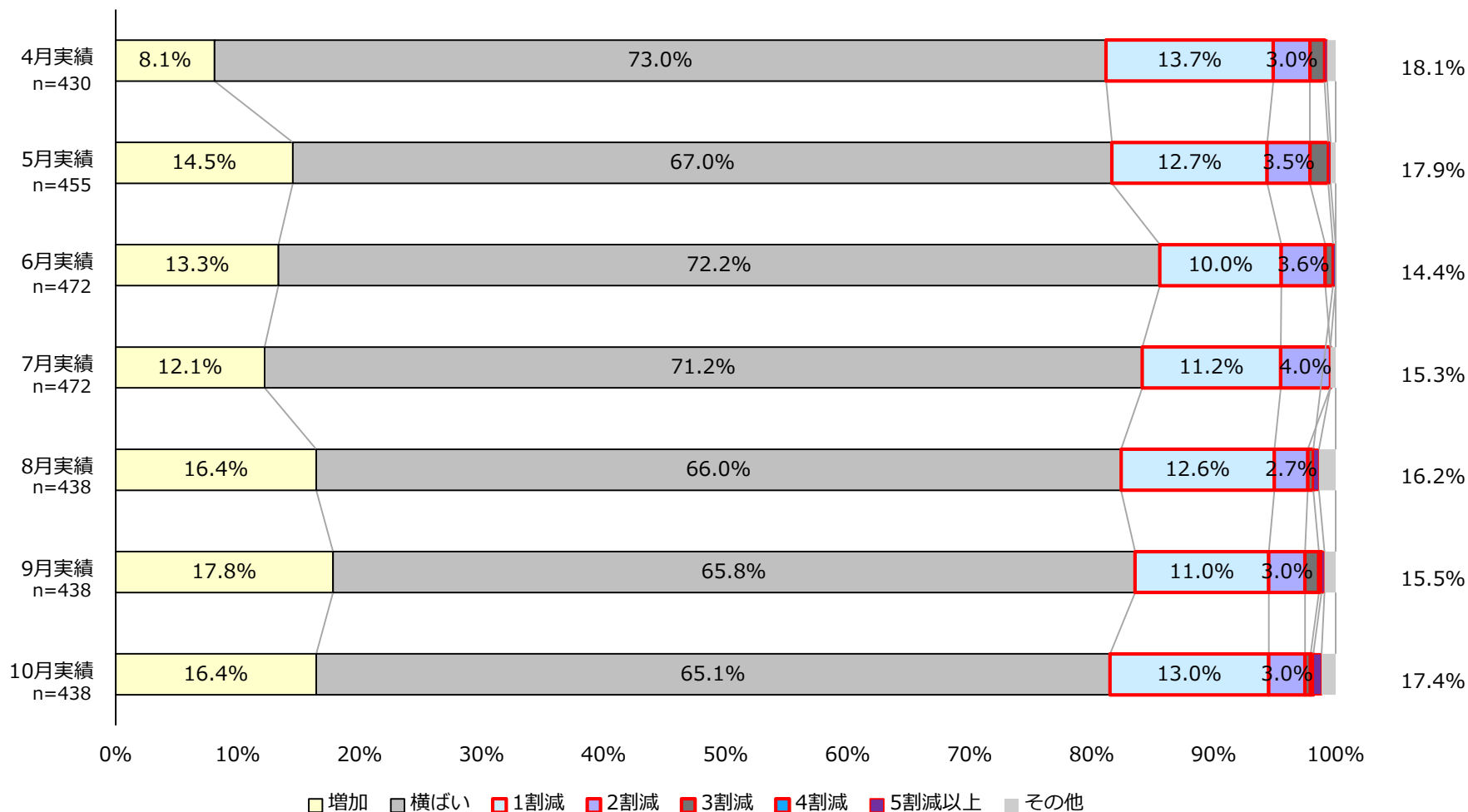
*その他の内容：不明、コロナウイルス感染症に関係なく減少 等（以下、記載がない場合は同じ）

収益の減少は4月が最も多く、以降9月にかけて徐々に回復傾向にある。11月見込については、減収施設がやや増加している。

2-1 施設入所のサービス活動収益

施設入所収益の変化の構成割合（前年同月比）

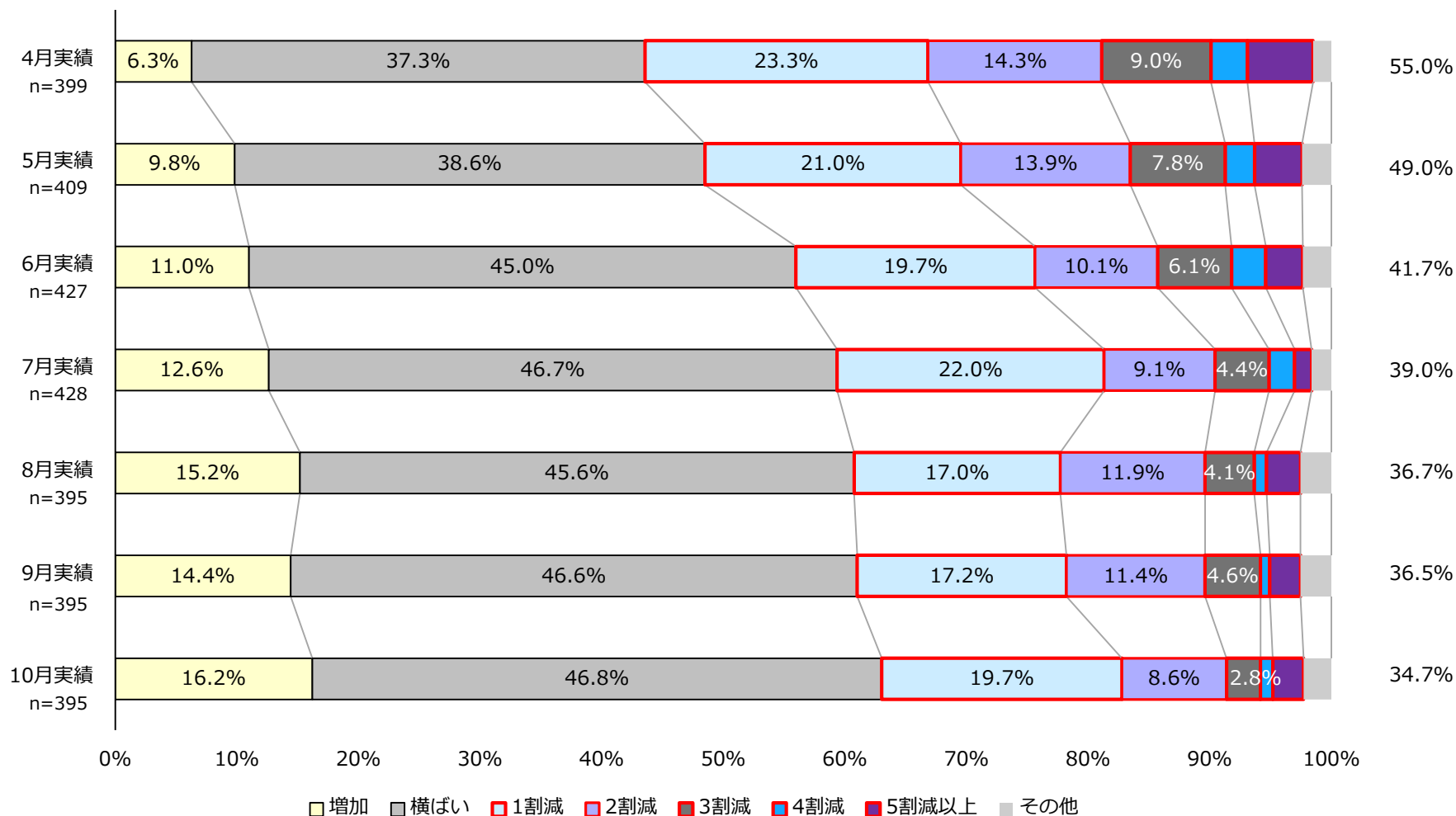
【再掲】
減収施設の割合(計)



2-2 短期入所のサービス活動収益

短期入所収益の変化の構成割合（前年同月比）

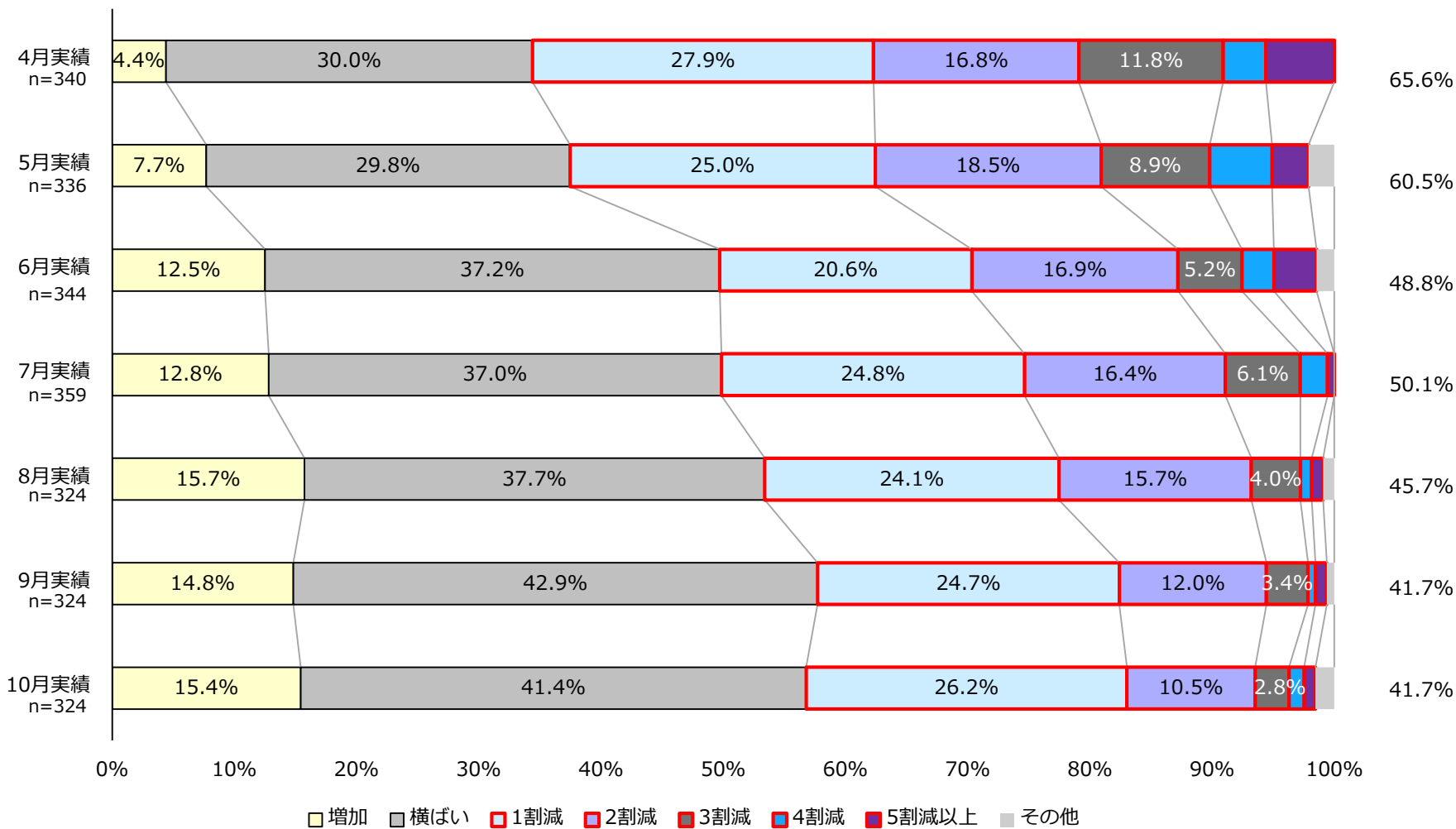
【再掲】
減収施設の割合(計)



2-3 併設通所のサービス活動収益

通所収益の変化の構成割合（前年同月比）

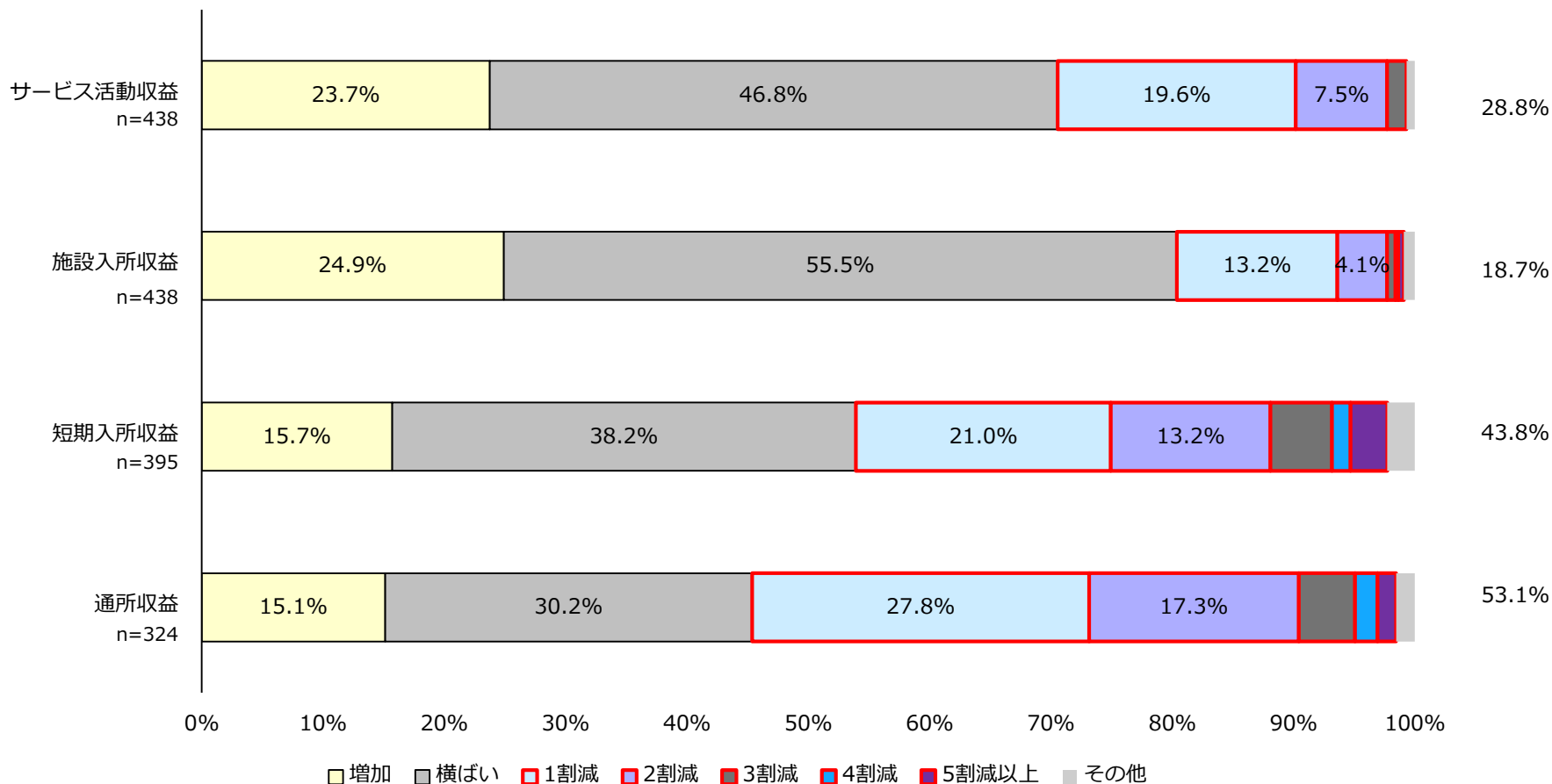
【再掲】
減収施設の割合(計)



3-1 2020年上半期（4月～9月）の各収益の変化幅

上半期（2020年4月～9月）の各収益の変化幅（前年同期比）

【再掲】
減収施設の割合(計)



2020年上半期（4月～9月）の各収益の変化幅は、通所収益は53.1%、短期入所収益は43.8%が減収と回答した。一方で、施設入所収益は8割が「横ばい」「増加」と回答した。

3-1 2020年度上半期（4～9月）における利用率の変化

(%)

	入所利用率 (n=434)				短期入所利用率 (n=379)				併設通所利用率 (n=310)			
	平均値	中央値	第1四分位	第3四分位	平均値	中央値	第1四分位	第3四分位	平均値	中央値	第1四分位	第3四分位
2020年度上半期 (A)	95.0	96.0	94.0	98.0	-	86.0	72.0	95.0	-	72.0	60.0	81.0
2019年度上半期 (B)	94.7	96.0	94.0	98.0	-	89.0	75.5	98.0	-	73.0	66.0	83.0
差引 (A-B)	0.3Pt	0.0Pt	0.0Pt	0.0Pt	-	△3.0Pt	△3.5Pt	△3.0Pt	-	△1.0Pt	△6.0Pt	△2.0Pt

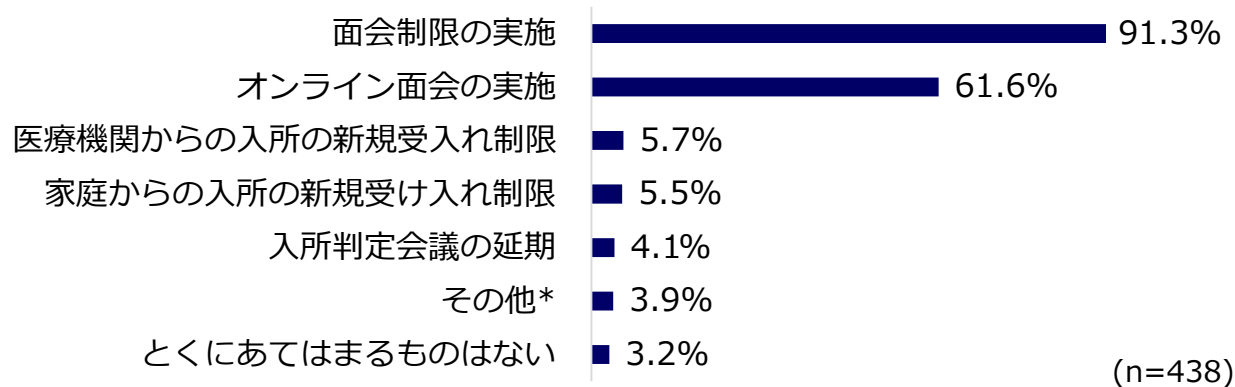
注1) 有効回答数は、「0」または未回答を除いた値

注2) 短期入所・併設通所は定員・営業日数等が不明なため、平均値は算出していない

注3) Ptはポイント（%の差引結果）を表す

2020年上半期（4～9月）と2019年上半期（4～9月）の利用率の変化幅は、入所利用率はほぼ横ばいで推移している。一方、短期入所利用率および併設通所利用率は低下した。新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、在宅サービスの制限や利用控えが利用率にも表れていた。

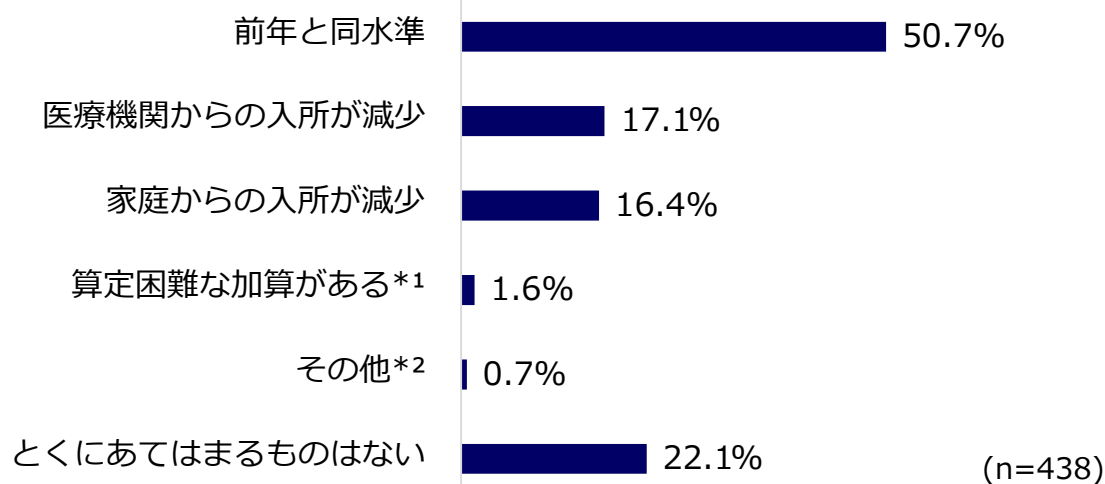
3-2 施設入所での直近の対応（複数回答）



「その他*」の内容

- ・ ガラス越しでの面会実施
- ・ 外出・外泊の制限
- ・ 面会制限は緩和し、面会時間・人数を定めている
- ・ 入所前のPCR検査を条件に受入れている 等

3-3 施設入所の稼働状況（複数回答）



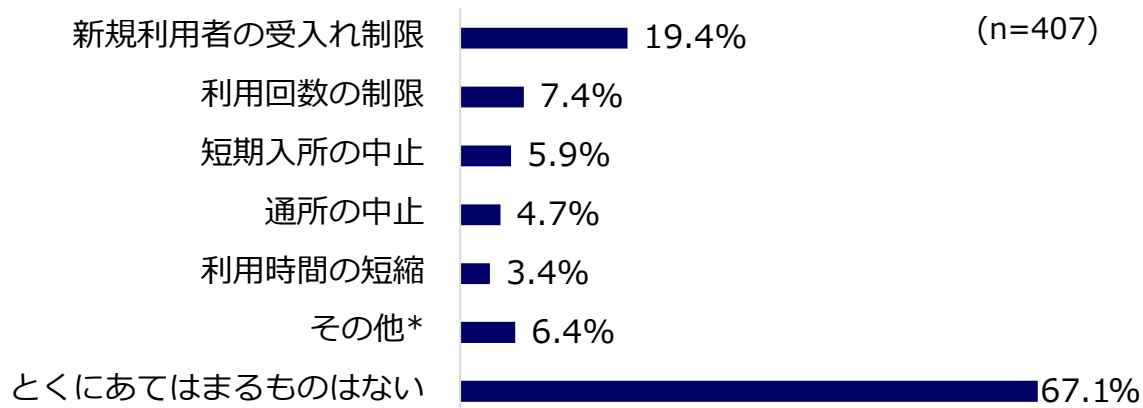
「算定困難な加算がある*1」の加算名

- ・ 看護体制加算
- ・ 日常生活支援継続加算
- ・ 口腔衛生管理体制加算
- ・ 夜勤配置加算 等

「その他*2」の内容

- ・ 入院が増加し入所稼働率が伸び悩み
- ・ 体調不良者や感染地域接触者の一定期間利用中止 等

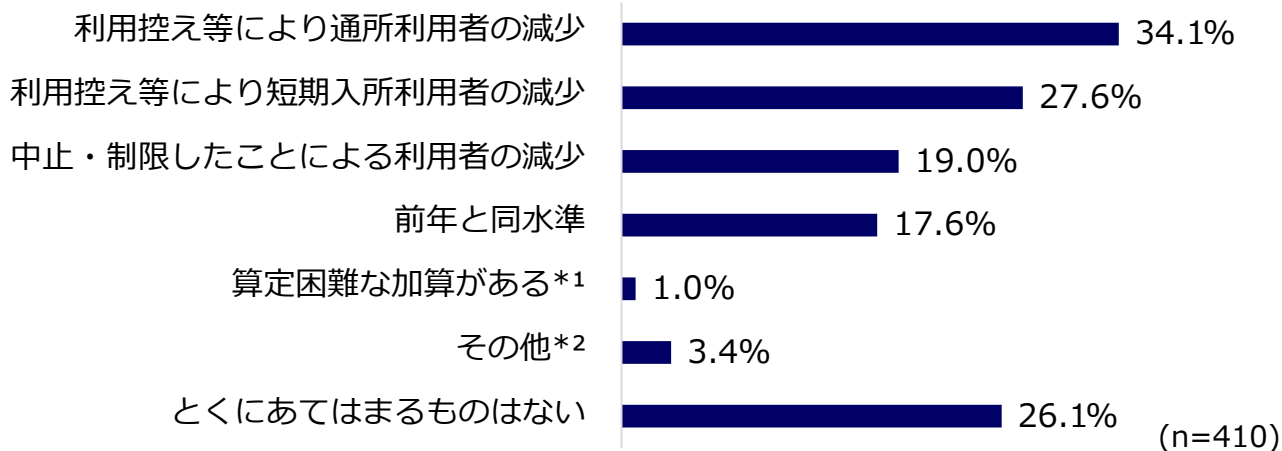
3-4 短期入所・併設通所での直近の対応 （複数回答）



「その他*」の内容

- ・ 家族の感染疑いや懸念もあつての短期入所利用者の利用長期化が目立つ
- ・ 空床利用推進し、入居稼働率減少をカバーしている
- ・ 短期入所の利用者について、利用前の本人の状況や家族の健康状態等を確認している 等

3-4 短期入所・併設通所の稼働状況 （複数回答）



「算定困難な加算がある*1」の加算名

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する加算（緊急短期入所受入加算など）等

「その他*2」の内容

- ・ クラスターの発生へ不安が常にある
- ・ 新規利用者の獲得が難しい（動きにくい）
- ・ 体調変化による入院等による利用減等

お問い合わせ先

独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター

担当 内記・橘

所在地 〒105 - 8486

東京都港区虎ノ門四丁目3番13号

ヒューリック神谷町ビル9階

TEL 03 - 3438 - 9932

FAX 03 - 3438 - 0371

MAIL wamsc_rt@wam.go.jp